

2018年9月13日
CData Software Japan 合同会社

API 開発・運用基盤「CData API Server」2018 版リリース



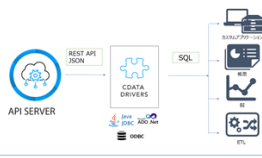
～IoT データ活用やユーザーのデジタルトランスフォーメーションを加速～

9月13日、CData Software Japan 合同会社（本社：アメリカノースカロライナ州、日本オフィス：宮城県仙台市、代表社員 職務執行者 疋田 圭介）は、API 開発・運用基盤「CData API Server」の2018版をリリースしました。

2018版では、IoT データの活用のための CSV ファイルデータの API 化や、エンタープライズデジタルトランスフォーメーションをサポートする管理 API 機能、スケーラブルなデプロイ機能の強化、Windows 認証（AD 連携）を含む API 利用ユーザー管理機能強化を追加しています。

こちら（<https://www.cdata.com/jp/apiserver/>）から製品をダウンロードしてご利用いただけます。30日の無償評価版の利用が可能です。

API Server 2018 機能強化

IoT	デジタルトランスフォーメーション（DX）	API エコシステム
 <p>クラウドストレージ内CSV 対応</p> <ul style="list-style-type: none"> • AWS S3、Google Drive、Box 内のCSV ファイルなどを直接データソース利用 • NoSQL データソース拡充 	 <p>APIライフサイクルサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> • 管理API（リソース・ユーザー） • エンドポイント一括作成 <p>ID 管理機能</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active Directory 連携 • リソース毎のACL 設定 • ユーザーのグループ化 <p>スケーラブルなデプロイ機能</p> <ul style="list-style-type: none"> • AWS などのクラウド上のオートスケール環境で運用 	 <p>SQL ベースドライバ</p> <ul style="list-style-type: none"> • ODBC/JDBC/ADO.NET • BI、ETL、DWH、RPA 利用 <p>オープンAPI サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> • OData 4.0 • Swagger 2.0 • AI、MachineLearning

< CData API Server 2018 版の主要な機能 >

1. IoT データの API 化による活用

- AWS S3、Google Drive、Box などのクラウドストレージ内の CSV、JSON、XML ファイルを直接 API 公開することが可能に。

News Release

- NoSQL DB にストアされているデータのスキーマ検出や OData/Swagger 対応エンドポイント変換によるデータ分析・AI 基盤への連携の実現。

2. デジタルトランスフォーメーション (DX) のサポート

エンタープライズ内外のデータの API 化、クラウドサービス (SaaS) の API 公開の促進によるデジタルトランスフォーメーションを推進。既存サービスへの API Server の組み込みやスケーラブルな API サーバー運用を容易にするための各機能を追加。

● API ライフサイクルサポートのための機能追加

➢ 管理 API 機能：

リソース作成やコネクション作成、ユーザー設定を外部アプリから API で実行可能に。クラウドサービス (SaaS) やウェブサービスの UI からの API Server 統合を簡単に。

参考記事：「CData API Server の管理用 API 利用手順」

<https://qiita.com/kuwazzy/items/54db74d67486b473d353>

➢ 管理コンソールでのエンドポイントの一括作成機能

● ID 管理機能

➢ Windows 認証 (AD 連携)：

社内の Active Directory 基盤を API Server で利用可能に。ほかにも既存のユーザー名とパスワードを API Server のユーザーにインポートが可能です。

➢ リソース毎のアクセスコントロール設定：

リソース毎にユーザー+グループ単位で、読み取り (GET) /更新 (POST/PUT/DELETE) のアクセス権限を設定可能。カラム単位での細かい権限設定も対応。

● デプロイ機能強化

AWS でのオートスケールやロードバランシングをサポート

参考記事：「AWS と CData で実現するスケーラブルな Web API サーバーの構築手順」

<https://qiita.com/kuwazzy/items/64bf953df24fd52811da>

3. API エコシステム構築のための標準インターフェースサポート

● CData API Server Drivers (ODBC/JDBC/ADO.NET) β版をリリース

API ユーザーが利用する BI、ETL、DWH、RPA ツールへのシームレスなアクセスを実現する Drivers の β版をリリース。Tableau、Power BI などの BI ツール、ASTERIA WARP、Talend などの ETL、Excel、Access、.NET アプリや Java アプリから標準 SQL で API Server の REST API を利用可能に。公開 API の利用促進や、マイクロサービス構築時の既存アプリケーションとの連携コストを圧倒的に削減。

参考記事：「API Server の API を SQL で使う」

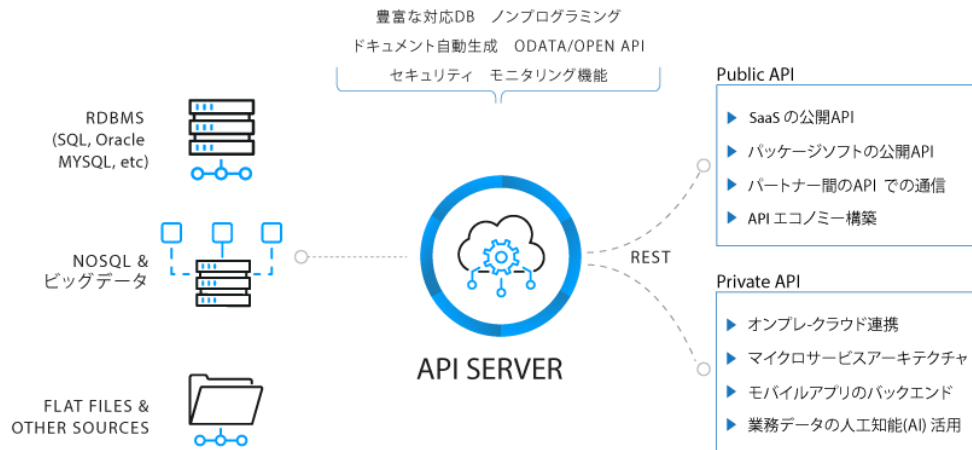
<https://qiita.com/jonathanh/items/5af1b14245c2edb6341c>

● REST API の標準である OData 4.0 や Swagger 2.0 をサポート

News Release

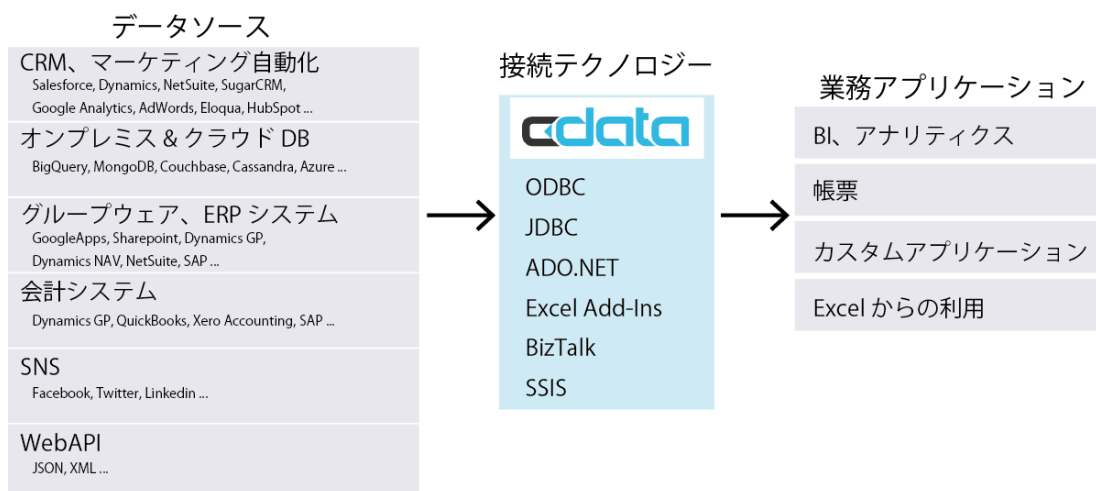
<CData API Server について>

CData API Server は、RDB など豊富なデータソースから本格的な REST API を構築・ホストできる API 開発・運用基盤です。ユーザーは、(1) RDB などのデータソースへの接続、(2) 公開リソースの設定、(3) ユーザー設定の 3 ステップでコーディングなしで Open API Initiative (Swagger) 準拠の API および自動生成されたドキュメントが公開できます。



<CData Software について>

CData Software, Inc. は、See the World as a Database をミッションに、データ接続および連携ソリューションを提供しています。ドライバーとデータ接続テクノロジーの開発に特化し、お客様のオンプレミスおよびクラウドアプリケーション、データベース、Web API へのリアルタイム接続を実現いたします。CData 製品は、世界中の大手企業、中小企業、政府機関、教育機関のデータ統合ソリューションにて利用されています。



※本リリースに掲載する社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

CData Software Japan 合同会社 マーケティング 兵藤
 TEL : 050-5578-7390 | E-mail : press@cdata.co.jp